

みんなで 支え合う まちづくり フォーラム2



1/29(火)

13:30 ~ 16:40

- ▶場所：藤久保公民館ホール
 - ▶料金：無料
 - ▶対象：どなたでも
 - ▶内容：「三芳町で支え合い活動が必要な背景」
中山 四郎 氏ほか ※手話通訳・磁気ループあり
 - ▶定員：200人（先着）
 - ▶申込み：下記に電話またはFAX（1/29フォーラム参加希望・氏名・住所・FAX番号を明記）で申し込み
- ☎健康増進課
（内線 189・FAX274-1107）
社会福祉協議会
（☎ 258-0122・FAX258-0180）



笑顔を見せる相手がいる。

ささえあい・みよし
自分らしい暮らししかた

【写真】数年前まで寝たきりだった山上さん（写真右から2番目）。ご近所さんの協力もあって出歩くことができるようになり、今では笑顔でおしゃべりに花を咲かせています。

ができます。
地域の一員
ご近所さんから手助けをしてもらえるということは、地域の一員であるということです。裏を返せば、誰か困っている人がいれば手助けする側に回ることもできるということ。助け、助けられ、支え合う。地域の一員



↑藤久保1区の支え合いの形「なかよし」。おしゃべりや交流を通じて近況を共有します。

介 護サービス。平成12年に介護保険法が施行されてから、多くの高齢者やその家族がサービスに助けられてきました。しかし、平均寿命が伸び続け、高齢者の数も増え続けている今の時代、介護を受け続けるだけではなく、自分らしく暮らし続ける「高齢者の生き方」が模索されています。
助け合い・支え合い
「あの人が、最近見かけないけど何か困ってないかしら」。遠い親戚より近くの他人。困ったときにすぐに相談に乗ってくれたり、助けてくれるのは「ご近所さん」です。ご近所さんと普

ささえあい・みよし
介護サービスを上手に使いながら、地域の役割を担い、自身の力を発揮する。そのための地域づくりをするのが「ささえあい・みよし」です。
各々の地域によって困りごとは異なり、支え合い方も変わってきます。自分たちの地域の困りごとを発掘し、話し合うことで、より暮らしやすく安心な地域を作っていくことができます。皆さんの地域でもささえあい・みよしを取り入れ、「自分らしい生き方」探しを始めてみませんか。



↑平成28年に発足した協議体ささえあい・みよし。町に支え合い活動を広めます。

としての役割を担うことで、生き方を何倍にも豊かにすることができます。

見えない」から脱却
個人情報保護の観点から、近所の人がどのような介護サービスを受けているかは知ることができませんでした。なんとなく具合が悪そうだけど、具体的にはわからない。それでは手助けできないのは当たり前です。
しかし、ご近所付き合いがあったらどうでしょうか。本人から困りごとを直接聞くことができます。「階段から転んで足を痛めてしまっ。毎日の買い物が大変」と聞くことができれば、買い物の手助けをすること



↑11/25日の福祉まつりで支え合いの必要性を説明する協議体ささえあい・みよしのメンバー。